

エコアクション21
環境経営レポート

(対象期間:平成30年度1月1日～平成30年度12月31日)



作成日:平成31年3月1日

株式会社 ランドテクト

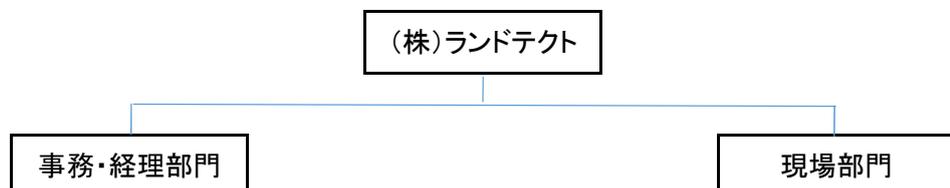
目 次

I. 組織の概要	...	P 1
II. 実施体制	...	P 2
III. 環境経営方針	...	P 3
IV. 環境経営目標	...	P 4
V. 環境経営計画	...	P 5
VI. 環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目標	...	P 6
VII. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・ 取組結果とその評価、次年度の取組内容	...	P 8
VIII. 当社の取組み	...	P 9
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	...	P11
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	...	P12
【その他添付資料】		
・環境上の緊急対策		

I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社 ランドテクト
2. 代表者氏名 岡野 直次
3. 所在地 本 社: 静岡市清水区西久保1丁目5-16
資材置場: 静岡市清水区和田島491
4. 事業活動 建設工事: 土木、建築、とび・土工
設計・施工管理(建設コンサルタント)、測量、地質調査
5. 従業員数 24名
6. 環境管理責任者及び連絡担当者 岡野 圭佑
7. 連絡先 TEL 054-363-3270
FAX 054-363-2663
(E-mail: lt-k.okano@oboe.ocn.ne.jp)
8. 建設業許可
建設業 静岡県知事許可(般一27) 31386号 土木、建築、とび・土工
国土交通大臣登録 質28 第2314号 地質調査
国土交通大臣登録 第(3) 30475号 測量
国土交通大臣登録 建28 第8643号 建設コンサルタント
9. 事業の規模
 - ① 設立 2001年 3月
 - 社名変更 2005年 4月
 - 事務所移転(庵原町) 2008年 5月
 - 事務所移転(現事務所) 2018年 8月
 - ② 事業規模

活動規模	単位	2018年	2017年	2016年
売上高	千円	329,389	273,967	300,834
従業員	人	24	24	23
事務所床面積	m ²	311.1	79.5	79.5
倉庫床面積	m ²	72.6	24.8	24.8
資機材置場	m ²	94.1	94.1	94.1
10. 事業年度 1月1日～12月31日
11. レポートの対象期間及び発行日
環境経営レポート対象期間(平成30年 1月 1日～平成30年12月31日)
環境経営レポート発行日: 初版(平成30年 2月 1日)
環境活動レポート発行日: 中間1回目(平成31年 3月 1日)
12. 認証・登録の対象範囲
対象組織:【全組織】 本社(事務・経理部門、現場部門)、資材置場

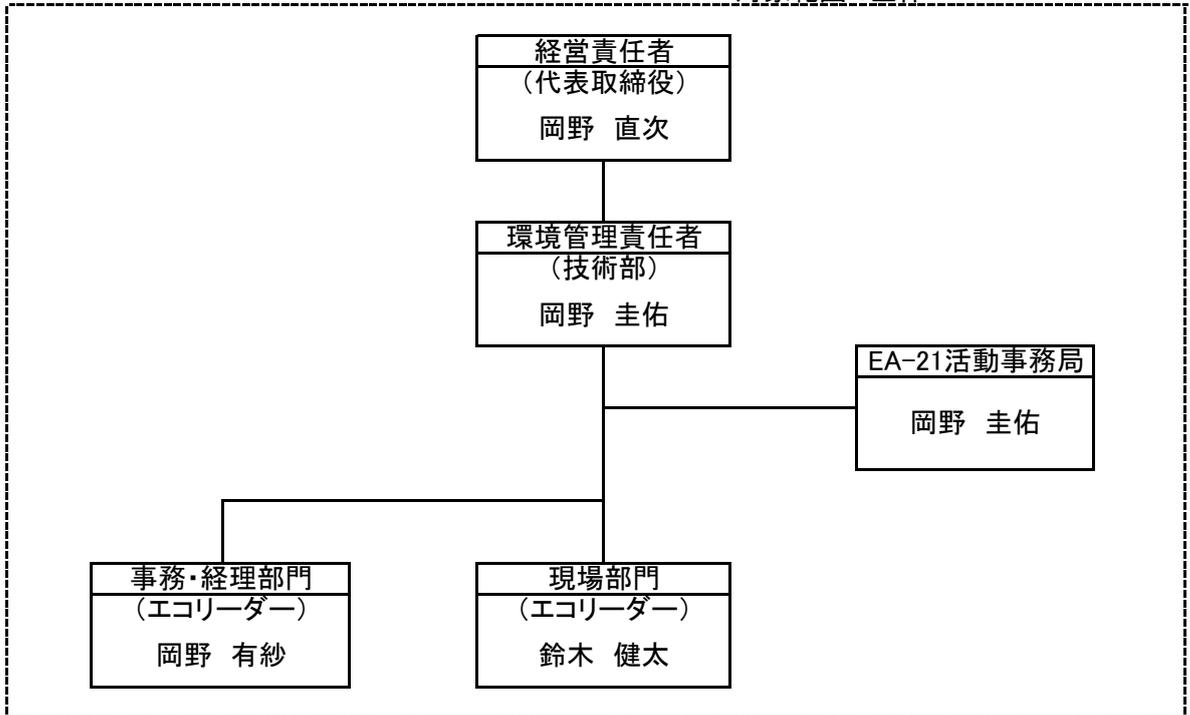


Ⅱ 実施体制

作成日:平成31年3月1日

作成者:岡野 圭佑

対象範囲:全体



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境経営方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 経営資源(人材・設備・資金・情報)を用意する
- ⑤ 全体の評価と見直し

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 法規制最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

Ⅲ 環境経営方針

《環境経営理念》

株式会社ランドテクトは「自然に大地に思いやり」の経営理念に基づき土木工事の事業活動を通して環境負荷の削減を推進し地域の環境を守るため全社で自主的・積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に取り組みます。

《環境保全への行動指針》

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取組
 - ① CO₂削減を目標とした省エネ活動に取り組みます。
 - ② 用水使用量の削減に取り組みます。
 - ③ 工事・設計・施工・測量・地質調査の技術を活かして廃棄物の3R推進による排出量の削減に取り組みます。
 - ④ 同上の総合技術・知見を活かして環境に配慮した施工方法の提出を行います。

2. 環境関連法規などを遵守します

3. 環境コミュニケーションの積極的实施
 - ① 社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実施します。
 - ② 社内においては全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、月2回、全体会議で毎月の事業所ゴミの排出量を見える化し、意識を高め全社員参画による取組を目指します。

制定年月日 平成29年8月31日

株式会社 ランドテクト
代表取締役 岡野直次

IV 環境経営目標

1. 平成30年度運用期間(平成30年1月～平成30年12月)の環境目標

項目	単位	平成30年度			
		基準値	平成30年1月～12月		
		平成28年1月～12月	目標削減率		
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	14,554	-2%	14,263	
内訳	電力	kWh	15,907	-2%	15,589
	ガソリン	L	2,966	-2%	2,907
	軽油	L	0	—	0
	灯油	L	0	—	0
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO ₂	77,417	-2%	75,869	
内訳	購入電力	kWh	0	—	0
	ガソリン	L	17,737	-2%	17,382
	軽油	L	13,790	-2%	13,514
	灯油	L	18	-2%	17.64
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.96	-2%	0.94
	産業廃棄物排出量	t	296.3	-2%	290
水道使用量の削減	m ³	110	-2%	108	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	15	-2%	14.7
	環境配慮工事の提案	件	4	+2件	6

2. 中期の環境経営目標

項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		基準年 (実績)	目標	目標	目標	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	14,554	-1%	-2%	-3%	
内訳	電力	kWh	15,907	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	2,966	-1%	-2%	-3%
	軽油	L	0	—	—	—
	灯油	L	0	—	—	—
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO ₂	77,417	-1%	-2%	-3%	
内訳	購入電力	kWh	0	—	—	—
	ガソリン	L	17,737	-1%	-2%	-3%
	軽油	L	13,790	-1%	-2%	-3%
	灯油	L	18	-1%	-2%	-3%
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.96	-1%	-2%	-3%
	産業廃棄物排出量	t	296.3	-1%	-2%	-3%
水道使用量の削減	m ³	110	-1%	-2%	-3%	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	15	-1%	-2%	-3%
	環境配慮工事の提案	件	4	+1件	+2件	+3件

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(平成27年度)の調整後排出係数「0.482kg-CO₂/kWh」を使用した。

V 環境経営計画

(取組期間:平成30年1月～平成30年12月)

目的	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール		
					4月	8月	12月
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	岡野(有)	① 消灯の徹底(1回/週チェックする)	▶		
				② 人感センサーの導入(3箇所に設置)	▶		
				③ プルススイッチ化(5箇所を変更)	▶		
				④ 高効率照明機器の導入検討	▶		
		空調	岡野(有)	① 温度設定夏26℃ 冬21℃	▶		
				② クールビズ、ウォームビズ	▶		
				③ フィルター定期清掃	▶		
				④ 使用していない部屋の空調停止	▶		
		コンプレッサー	鈴木	① 作業場コンプレッサー環境整備	▶		
				② 昼休み時間稼働停止	▶		
	その他	岡野(有)	③ エアー漏れの点検と修理	▶			
			④ 冷蔵庫の保冷対策	▶			
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック ホーク	岡野(有)	① エコドライブ	▶		
				② エコ整備	▶		
③ 日常・定期点検の実施				▶			
④ 省エネ車の導入検討				▶			
⑤ 排ガス対応車の導入検討				▶			
重機		鈴木	① アイドリングストップ	▶			
	② 省エネ重機の使用		▶				
廃棄物のリサイクル	事務所	岡野(有)	① コピー用紙の両面使用	▶			
			② 集約化購買	▶			
			③ FAXのPDF化	▶			
			④ 廃棄物の分別とリサイクル	▶			
	建設副産物のリサイクル	鈴木	① 廃棄物の分別化	▶			
			② 分別ルート新規開拓	▶			
水道使用量の削減			岡野(有)	③ 電子マニフェストの導入	▶		
環境配慮工事	特定工事 他	鈴木	① 蛇口をしっかり閉める	▶			
			② 特定工事での施工計画への反映の検討	▶			
環境配慮工事	特定工事 他	鈴木	② 環境配慮工事の提案の検討	▶			
			③ 電子マニフェストの導入	▶			
地域貢献			岡野(主)	小さな親切運動	毎年5月/年1回		

VI 環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目

運用期間(平成30年1月～平成30年12月)の環境目標とその実績、評価

項目	単位	基準期間	運用期間					
		平成28年度 1月～12月	平成30年度 1月～12月					
		基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	14,554	-2%	14,263	-18%	11,880	○	
内訳	電力	kWh	15,907	-2%	15,589	-15%	13,510	○
	ガソリン	L	2,966	-2%	2,907	-22%	2,312	○
	軽油	L	0	—	0	—	0	-
	灯油	L	0	—	0	—	0	-
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO ₂	77,417	-2%	75,869	17%	90,417	×	
内訳	電力	kWh	0	—	0	—	0	-
	ガソリン	L	17,737	-2%	17,382	25%	22,163	×
	軽油	L	13,791	-2%	13,515	7%	14,702	×
	灯油	L	18	-2%	17.64	744%	152	×
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.96	-2%	0.94	681%	7.5	×
	産業廃棄物排出量	t	296.3	-2%	290	-100%	0.0	○
水道使用量の削減	m ³	110	-2%	108	15%	126.0	×	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	15	-2%	14.7	-55%	6.8	×
	環境配慮工事の提案・実行	件	4	+2件	6	-4件	2	×

<備考>削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。

次年度の環境経営目標

※中長期目標設定時から変更なし

項目	単位	基準期間	次年度の環境経営目標		
		平成28年度	平成31年度 1月～12月		
		基準値	削減率等	目標値	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	14,554	-3%	14,117	
内訳	電力	kWh	15,907	-3%	15,430
	ガソリン	L	2,966	-3%	2,877
	軽油	L	0	—	0
	灯油	L	0	—	0
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO ₂	77,417	-3%	75,094	
内訳	購入電力	kWh	0	—	0
	ガソリン	L	17,737	-3%	17,205
	軽油	L	13,791	-3%	13,377
	灯油	L	18	-3%	17
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.96	-3%	0.93
	産業廃棄物排出量	t	296.3	-3%	287.4
水道使用量の削減	m ³	110	-3%	107	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	15	-3%	14.6
	環境配慮工事の提案・実行	件	4	+3件	7件

但し平成31年は元号が変わる予定である。

運用期間中の環境目標未達成項目について原因・是正処置一覧表

平成30年度 (1月-12月)	目標値	実績値	原因	是正処置
建設現場の ガソリン(L)	17,382	22,163	基準年度と売上高を比較すると今年度は約10%あがっている。ガソリンの使用量は約27%増加していて、売上よりも増大傾向であるが、遠方の現場が多かったことが原因に挙げられる。 また、整理整頓が不徹底のため、不要な荷物を積んでいる社有車があることも原因の一つである。	荷物の整理整頓の徹底。 時間に余裕を持ち行動をし、エコ運転を心がける。 定期点検の徹底。
建設現場の 軽油	13,515	14,702	基準年度と比較して約10%の使用量増加であり、売上高と比例しているが、重機を多用する工種が増えたことが原因に挙げられる。 また、運用期間中の工事は山の中で行われ、伐採等が発生したことも原因の一つである。	排気規制された重機を使用しているが、今後更に低燃費使用の重機が出たらそちらを積極的に使う。
建設現場の 灯油	17.64	152	山岳部での仕事が下半期に多かったため、暖房器具の燃料として灯油使用量がかさんでしまった。	ストーブは1ヶ所で使い現場を出る30分前にはきる。
一般廃棄物 排出量(t)	0.96	7.4	今年度7月に新社屋に引っ越しを行った。その際に前事務所で不要になったものを捨てたため、目標値とかけ離れた実績値となってしまった。	ゴミの分別・リサイクルの徹底。 備品の管理を行い、無駄を出さないように気をつける。 備品購入の際には耐久性も考え、長く使えるものを選ぶようにする。
水道使用量 (m ³)	108	126	引越に伴いトイレ等水道場が増えたため。	蛇口はその都度しっかり締める。
建設副産物 リサイクル 向上率(%)	15	6.8	今年度は、特に山間部での仕事が多く伐採等に伴い、再生化できない建設副産物が特に多く排出されたことが原因である。	使えるものは最後まで使い切ることを心がける。 現場での廃棄物の仕分けをよりきちんと行う。
環境配慮工 事の提案・ 実行(件)	4	2	当社はボーリングマシン稼働に伴い使用する発電機を環境配慮型を導入している。今年度はボーリングマシンを使用する元請け工事現場が少なかったことが原因である。	施工計画書に明記をし、環境配慮型の発電機を確実に使用するよう提案する。 低燃費の機械を導入していく。

Ⅶ 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の取組内容

(取組期間:平成30年1月～平成30年12月)

目的	区分	項目	責任者	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	岡野(有)	① 消灯の徹底(1回/週チェックする)	○	掲示→徹底されている	継続実施
				② 人感センサーの導入(6箇所を設置)	○	設置済み	継続実施
				③ プルススイッチ化(5箇所を変更)	○	設置済み	継続実施
				④ 高効率照明機器の導入検討	○	設置済み	継続実施
		空調	岡野(有)	① 温度設定夏26℃ 冬21℃	○	表示→徹底されている	継続実施
				② クールビズ、ウォームビズ	○	表示→徹底されている	継続実施
				③ フィルター定期清掃	○	3ヵ月ごとに実施	継続実施
				④ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		コンプレッサー	鈴木	① 作業場コンプレッサー環境整備	○	換気の実施(完了)	継続実施
				② 昼休み時間稼働停止	○	徹底されている	継続実施
				③ エアー漏れの点検と修理	○	換気の実施	継続実施
		その他	岡野(有)	① 冷蔵庫の保冷対策	○	徹底されている	継続実施
	ガソリン・軽油・灯油	乗用車・トラック・ホーク	岡野(有)	① エコドライブ	○	全社員で取組中	継続実施
				② エコ整備	○	全社員で取組中	継続実施
				③ 日常・定期点検の実施	○	全社員で取組中	継続実施
				④ 省エネ車の導入検討	○	ガソリン車からハイブリッド車への入替え検討中	次年度計画反映
				⑤ 排ガス対応車の導入検討	○	検討実施	次年度計画反映
		重機	鈴木	① アイドリングストップ	○	施工計画反映	継続実施
				② 省エネ重機の使用	○	施工計画反映	継続実施
				③ 冬季の灯油使用方法の改善	△	検討	次シーズンより実施
水道使用量の削減	岡野(有)	① 蛇口をしっかり閉める	△	蛇口を閉めることの徹底	継続実施		
廃棄物のリサイクル	事務所	岡野(有)	① コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用→徹底されている	継続実施	
			② 集約化購買	○	毎月の購入日設定済	継続実施	
			③ FAXのPDF化	○	一部未対応	継続実施	
			④ 廃棄物の分別とリサイクル	○	基準決め→徹底されている	継続実施	
	建設副産物のリサイクル	鈴木	① 廃棄物の分別化	○	徹底されている	継続実施	
			② 分別ルート新規開拓	○	取組中	継続実施	
環境配慮	特定工事他	鈴木	① 特定工事での施工計画への反映の検討	○	検討実施	継続実施(重点項目)	
			② 環境配慮工事の提案の検討	○	検討実施	継続実施(重点項目)	
貢献地域		岡野(主)	小さな親切運動		毎年5月/年1回	継続実施	

<備考>

- 平成30年12月の12ヶ月間の実績評価である。
- 評価判定
○(良くてきた)・△(まあまあできた)・×(できなかった)・-(実施が見送られた)

Ⅷ 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



◆ごみの分別で委託先処理時のCO₂排出削減◆



◆社内会議風景◆



◆小さな親切運動◆



◆喫煙場所の設置◆ 指定場所以外での喫煙の禁止



Ⅸ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 平成31年3月1日

評価者 環境管理責任者 岡野 圭佑

法規・条例・規制	条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価	
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○	
	第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示(60cm×60cm以上掲示) ・廃棄物の悪臭・飛散防止	○	
	第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○	
	第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○	
	第12条の3第1項	マニフェストの交付		○	
	第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○	
	第12条の3第3項	収集・運搬業者の管理票交付者へのマニフェスト返却	B1票の90日以内の送付等	○	
	第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○	
	第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○	
	第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内)、D、E票(180日以内)の期間内返却	○	
	建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○
		第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	○
		第12条	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明		○
		第16条	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		○
	騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	バックホウ(原動機定格出力80KW以上)を使用する作業	○
		第15条	特定施設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	○
	振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	くい打機	○
		第15条	特定施設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	○
	フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機(50kW以上)1年に1回以上 ③空調機(7.5kW~50kW未満)3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器(7.5kW以上)1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認 ②、③、④有資格者による定期点検実施	○
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○	
	第25条第1項	主任技術者の設置		○	
	第25条第2項	管理技術者の設置		○	
水道法	第25条の2	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	○	
河川法	第50条第1項	ダムの適正な維持、操作、管理	ダム管理主任技術者	○	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第72条	改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守	○	
	第88条	振動に係る特定建設作業の実施の届出(工事開始7日前)	くい打機(振動規制法の特定建設作業に準ずる)	○	
	第89条	改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守	○	
	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置		○	
	第10条	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	
責務・努力 法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
	地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力(温室効果ガス抑制措置)	EA21の取組	○
	循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 平成31年3月1日

1・見直し関連情報	項目	確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>
2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます。
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載しました。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありません。継続して取り組みます。
5	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありません。
6		<input type="checkbox"/>	
7		<input type="checkbox"/>	
8	その他()	<input type="checkbox"/>	

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>エコアクション21の活動取り組みを開始して1年がたちました。 弊社は昨年7月に本社新社屋を建てました。事務所内での可燃ごみ、資源ごみは社員の環境への意識が高まり前年同月度と比べて全体的に数値は下がってきてます。電気使用量は社屋の規模が変わったこともあるので今後も節電を心掛けながらデータを取っていきます。 建設現場では屋外で工作物を構築するため、個々の現場において、位置、施工条件が異なるため、一定量を安定して削減し続けるのは難しいと思いますが、各社員が環境に配慮した行動を行えば、削減可能だと思います。 今後もエコアクション21を継続させ、会社全体で更に積極的に環境を意識した行動をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">平成 31年 3月 1日 株式会社 ランドテクト 代表取締役 岡野直次</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	①電子機器からの発火 ②タバコからの発火	自然発火 不適切な処理	・整理・整頓 ・掃除などで埃の除去 ・喫煙スペースに消火用の水入れを設置する。
パターン2	地震による事務所の倒壊	地震による破損	・緊急速報のチェック ・避難経路・避難場所の確認 ・事務所の整理整頓

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/12/3	火災	自然発火	火災発生時の動き 消火活動人員以外は指定避難場所へ避難
参加者		総務部・営業部・技術部	
※評価と改善策			
新しい事務所が変わったので火災発生時の動きを再確認した。 消火活動人員以外は避難場所に避難を実施した。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2019/1/22	避難訓練	地震	避難経路確認
参加者		総務部・営業部・技術部	
※評価と改善策			
前回は消火器を使用した消火活動訓練を行ったので今回は避難訓練を実施した。 事務所を移転して避難場所が変わったので避難経路の確認を行った。 今回参加できなかった社員にも避難場所の周知を行うようにする。			

現場

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日: 2019/3/1
 作成者: 岡野 圭佑

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	地震・土砂崩れ・大雨	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 各工事毎、施工体制台帳に準ずる。 施工体制台帳記載の組織構成で緊急体制に入る。安全を確保したのち関係各所に連絡し可能ならば現地パトロールを行い警戒に当たる。
パターン2	落下、機械・機材に挟み込み	ヒューマンエラー	<ul style="list-style-type: none"> KY日報作成 安全巡視日誌 月に1度、安全訓練を行い（内容は現場毎に異なる）事故に対するリスクマネジメントを作業員全員に意識付けする。

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
参加者 _____ 技術部			
※評価と改善策 各現場、共通仕様書に準じ、避難訓練実施			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
参加者 _____ 技術部			
※評価と改善策 各現場、共通仕様書に準じ、避難訓練実施			

現場

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日: 2019/3/1
 作成者: 岡野 圭佑

現場名: 平成30年度上西之谷地すべり対策【防災・安全交付金】工事(地下水排除工)

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	地震	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 地震に対する安全対策(地震時の対応) 避難経路の確認。 関係各所に連絡。
パターン2	落下、機械・機材に挟み込み	ヒューマンエラー	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、安全訓練を行い事故に対するリスクマネジメントを作業員全員に意識付けする。 ボーリングマシンでの作業の危険予知について

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/9/7	地震	自然災害	避難経路確認 避難場所確認
参加者 森島永年 津川正規 菅原慎一郎 石野智広 中川満信			
※評価と改善策 避難場所、避難経路を地図上で確認、その後避難場所まで作業員全員で移動を行った。 現場代理人は施工体制台帳に記載された緊急時の対応を基に関係各所に連絡する動作の確認をしたが山中の作業になるので避難場所がどうしても遠くなってしまう事を作業員に指摘された。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/8/23	ボーリングマシンでの作業の危険予知について	ヒューマンエラー	月に1度の安全訓練 現場内の整理整頓、実際に起こった災害事例をまとめ、資料として配布
参加者 森島永年 津川正規 菅原慎一郎 石野智広			
※評価と改善策 整理整頓がされていない現場では事故が起きやすいため、整理整頓を心掛ける。 不安全行動をしないように心がける。			

現場

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日:2019/3/1
作成者:岡野 圭佑

現場名:平成30年度地すべり対策西山寺2期地区集水ボーリング2工事

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	地震	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 地震に対する安全対策(地震時の対応) 避難経路の確認。 関係各所に連絡。
パターン2	落下、機械・機材に挟み込み	ヒューマンエラー	<ul style="list-style-type: none"> 重機、クレーンの事故事例をもとに事故防止を行う。 工事事故防止対策の推進、安全教育にて危機管理能力を身に着ける。

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/10/25	地震	自然災害	避難経路確認 避難場所確認
参加者 熊谷嘉秀 菅原慎一郎 岡野圭佑 梅原邦夫			
※評価と改善策 避難場所、避難経路を地図上で確認、その後避難場所まで作業員全員で移動を行った。 安全通路が滑りやすいと指摘、避難経路を変更した。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/10/25	機材上げ下げ時、荷が落下してしまう。	ヒューマンエラー	月に1度の安全訓練 実際に起こった災害事例をまとめ、資料として配布 安全スローガンの唱和
参加者 熊谷嘉秀 菅原慎一郎 岡野圭佑 梅原邦夫			
※評価と改善策 集水井内での作業の為、どうしても人が井戸の中にある状態で荷物の上げ下げを行う時がある。 事故事例をもとに不安全行動をしないように心がける。 クレーン合図者は分かりやすくしっかりと合図する必要がある。			

現場

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日: 2019/3/1
 作成者: 岡野 圭佑

現場名: 平成29年度東久留女木地すべり対策【防災・安全交付金】工事(横ボーリング工)

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	地震	自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に対する安全対策(巨大地震時の安全確認) ・避難経路の確認。 ・避難場所までの徒歩移動
パターン2	落下、機械・機材に挟み込み ストレスからくるヒューマンエラー	ヒューマンエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度、安全訓練を行い事故に対するリスクマネジメントを作業員全員に意識付けする。 ・ヒューマンエラーの対策に有効な11の方法

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/3/28	地震	自然災害	避難経路確認 避難場所確認
参加者		森島永年 加藤貴史 井島輝樹 増田雅和	
※評価と改善策			
避難場所、避難経路を地図上で確認、その後避難場所まで作業員全員で移動を行った。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2018/4/24	落下、機械・機材に挟み込み ストレスからくるヒューマンエラー	ヒューマンエラー	月に1度の安全訓練 実際に起こった災害事例をまとめ、資料として配布
参加者		森島 永年、近藤寛桜、近藤幹昌	
※評価と改善策			
ストレスからくる事故事例、ストレスとは何かを資料を使い説明。ストレスの対処法を学んだ。			